
新生架空兵器の館

重巡とね

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新生架空兵器の館

【著者名】

重巡とね

【ノード】

N7697W

【あらすじ】

前作の架空兵器の館が終了してから10日・・・
ここに新たな架空兵器の館が開館致します
新生架空兵器の館、館長重巡とね
従業員、艦魂達と人間

零式 怪しい館に突入（前書き）

前作品の架空兵器の館から10日、新たな架空兵器の館がここに開館する

零式 怪しい館に突入

「」は、零島諸島

架空連合艦隊の拠点がある諸島である

この諸島にある最北端の島、第220番島、空島に戦艦が4隻停泊していた

この戦艦の名前は備前型の戦艦備前、備中、備後、備讃の4隻である

？？×4

「　「　「　・　・　・　・　・　」　」　」

そこへ4人の士官服を着ている少女が上陸した

ショートヘアで腰に短剣を付けているのは戦艦備前の艦魂、備前

ポニーテールで背中に太刀を背負っているのは戦艦備中の艦魂、備中

腰までのポニーテールで眼鏡を掛け、両腰に南部拳銃をホルスターに
いれているのは戦艦備後の艦魂、備後

ショートヘアで背中に九九式歩兵銃着剣状態を背負っているのは
戦艦備讃の艦魂備讃である

備前

「で、この空島で作者は一体何をするつもりかしら？」

備中

「さあ～私には分からぬなあ～」

備後

「・・・IJの島は兵器貯蔵庫と兵器部品開発工場と怪しい洋館があるだけですよ」？

備讚

「まあ、取り合えず怪しい所から探つて行くのだ～」

そう言つて4人が向かつたのは朽ち果てかけた洋館である
この洋館は架空連合艦隊がこの零島諸島に基地を作る前からこの島
に建つっていた洋館である

この島に係留する者は時々この洋館に肝試しをやり行くが帰つて來
た者は数日以内に必ず
病死や事故死をして殉職している者が多い

備前

「ここが魔窟の洋館ね・・・」

備中

「だ、大丈夫かな・・・」

備後

「・・・ある意味私達もお化けみたいな存在ですから大丈夫ですよ

備中姉さん」

備讚

「でも・・・やっぱり怖いのだ・・・虫とか多そだから火炎放射

器の中に殺虫剤を入れるのだ」

そう言ってどこから取つて来たのか、防護服に火炎放射器の中に殺虫剤を入れている備讃が言つた

「ちょ、備讃・・・虫だけにそれだけの重装備はいらないんじゃない？」

備
讚

「何いつていいのだ備前お姉ちゃん！ハエ一匹に対し殺虫剤のスプレー缶を半分以上使うの

は当たり前ののだ

備前・備中・備後

全力で備讃の言葉を否定する全員だった

因みに作者の場合はハエ1匹に対して殺虫剤スプレー缶1本丸ごとつかいます（キリッ

備前

「いや、いやあ行くわよ・・・」

備前達は恐る恐る洋館の中に入つて行つた

備中

「や、やつぱり怖いね・・・」

備後

「・・・（ガタガタブルブル）」

備讚

「か、懷中電灯をもつてくれればよかつたのだ・・・」

全員が歩いて奥え進んだその時！

？？

「うう・・・だあ～れえ～だあ～・・・」！

備前・備中・備後・備讚

「～～～～～やあああああああああああああああああああああああああああ～～」

「～～～～～！」

ドタン！ガタン！バーン！ベキヤ！

突然のうめき声に備前達は大声で驚いてその場で折り重なつてこけた

？？

「お、おい大丈夫か」！？

次回へ

零式 怪しい館に突入（後書き）

「意見」感想お待ちしております

一式 戦艦備前型（前書き）

新生架空兵器を出しします――！

架空兵器一発目レッジゴー――！

一式 戰艦備前型

備前達が空島にとねを探しに行つて10日後・・・

9月22日
れいとうしじとうじいちばんとうれいしま
零島諸島 一番島零島

תְּהִלָּה תְּהִלָּה תְּהִלָּה תְּהִלָּה תְּהִלָּה תְּהִלָּה תְּהִלָּה
!...-ה

突如この諸島に警報がけたたましく鳴つた

架空連合艦隊旗艦戦艦紀伊

の艦橋に一人のセミロングで腰にナイフを下げて着た士官服を着た少女がいた

彼女の名前は紀伊、^{きい}架空連合艦隊の現旗艦の艦魂である。

紀伊

「敵はなんなの」！？

- そう言つて双眼鏡を見る紀伊、その先に見えるのは大型の艦が4隻。
・
よこいちもんじたいけい
横一文字隊形でこちらに接近してきている

紀伊

「大型の所属不明艦が4隻接近中！沿岸の自走砲部隊と対艦砲、艦船部隊は戦闘準備！」

航空機部隊は緊急発進して「――！」

？？

「その必要はないぜ紀伊」

紀伊

「誰ですか」「！？」

紀伊の後ろで突然、声がして紀伊が後ろに振り向いた、そこに居たのは・・・

紀伊

「あ、作者さん！？そ、それに備前姉さん達も「！？」

紀伊の後ろに居たのは架空連合艦隊司令長官であつてこの作品の作者である重巡じゅうじゅんとね

と備前、備中、備後、備讃の5人であった、備前達は何故かマントをはおつている

紀伊

「さ、作者さん何処に行つっていたのですか？！それより所属不明の大型艦が4隻こっちらに向かつて来ですよ」！？

重巡とね（以降作者）

「あの新型戦艦の事か」？

紀伊

「し、新型戦艦」！？

作者

「ああ・・・新型戦艦備前、備中、備後、備讃の4隻だ」――！

武装	乗員	性能	戦艦備前型
2400人	2400人	基準排水量	8万8420トン
装甲	装甲	全長	280メートル
装甲	装甲	全幅	40メートル
速力	速力	航続距離	40ノット（時速約72キロ）
装甲	装甲	甲板	16ノットで1万6640海里
24センチ舷側	24センチ舷側	24センチ舷側	48センチ

50センチ連装速射主砲	4基	(前部2基 後部2基)
80センチ大型追尾式対艦墳進弾発射機	4連装16基	
20センチ長距離中型追尾式対空墳進弾発射機	8連装42基	
10センチ小型追尾式対潜墳進弾発射機	12連装4基	
20センチ巡航墳進弾発射機	2連装8基	
8センチ連装速射高角砲	16基	
30ミリ近接防御	6連多砲身機関砲	16基
20ミリ近接防御	6連多砲身機関砲	16基
16ミリ連装両用機関銃	10基	
電磁力タバール	2基	
航空機8機		
95式艦上偏航翼戦闘偵察機海鳥	4機	
艦上戦闘偵察爆撃機烈風	26型4機	
同型艦 備前 備中 備後 備讃		

補足

架空兵器の館の戦艦備前型を改良した新型戦艦

前の備前型は41センチ3連装主砲塔載だったが、この艦は50センチ連装主砲4基を搭載している

高角砲も速射性を上げる為、前の10センチ高角砲から8センチ高角砲に換装されている

追尾式墳進弾を大量に搭載していて、対潜攻撃も行なえる性能についている

対空面に関してはもはや最強と言つてよいほど優秀である

架空連合艦隊が解散した今、新たな架空連合艦隊が発足される・・・

作者

「いや・・・上層部から『旧式装備を全てを新型装備に換装しろ』って言われて

空島で新型戦艦を建造していたんだ・・・そして、備前達をその新型戦艦に転移してもらつたんだ」

紀伊

「で、備前姉さん達はなんでマントをはおつているんですか？」？

作者
「ふふふ・・・よべぞ聞いてくれました！備前」！――！

備前

「分かつてゐるわよ！」

そう言つて備前達は、はおつているマントを一気に放り投げた

紀伊

「つん！？！？！？ななな、なんですか備前姉さん達その格好は！？！？」

備前達の格好は上は普通の士官服だが下がいつも長ズボンがスカートになつてゐる
因みに、備前、備中、備讃がミニスカートで備後はロングスカートである

作者

「いや～備前達に新しい架空連合艦隊を作るって話したら服装も変えたいって備前達から意見を聞いたり
他に前々から駆逐艦や潜水艦の艦魂からスカートにしたいって言わ
れていたから今回、実行しました」

備前

「それに、この士官服の後ろには架空連合艦隊の紋章がはいつてい
る、前の士官服より動きやすいわ」

備中

「それに武装もいろいろ取り付けられるし・・・」

備後

「・・・春夏秋冬^{はるなつあきふゆ}全て対応できますし・・・」

備讃

「ズボンの方がいいって人はズボンを履いてもいいのだ」！

紀伊

「へえ～・・・そなんですか・・・って一体、空島で何があつた
んですか」！？！？

作者

「その理由は話すから、架空連合艦隊全艦艇、全兵員、全艦魂を招
集しろ」！！

紀伊

「うよ、了解です」――

次回へ

一式 戦艦備前型（後書き）

「意見」「感想お待ちしております

一式 高高度防空戦闘機桜花

架空連合艦隊現旗艦戦艦紀伊、かんていはくち艦艇迫地にて・・・

架空連合艦隊現旗艦戦艦紀伊の甲板には紀伊の乗員、と艦魂達が集まっていた

戦艦紀伊の周りには架空連合艦隊の全艦艇が集まっていた

周りがざわついている所に士官服に身をまとったとねが現れた
後ろには戦艦備前型4隻の艦長4人と艦魂4人がとねの後ろに並んだ

とね

「あーあー・・・諸君！突然招集してしまってすまない・・・先日
の架空連合艦隊の

解散の事は聞いているな？その事で今日は集まつてもうつた」！

そう言つと全員が少しざわめきだした

水兵

「長官！架空連合艦隊は本当に解散するんですか」！？

士官

「もし解散した場合は我々兵員や艦魂はどうなるんですか」！？

初音

「私達は解体されるんですか」！？

綾瀨

「それとも何処かに売り飛ばすつもりですか」！？

兵員や艦魂たちが一誠に発言してきた

作者の声で全員黙つた・・・

全長	14メートル
翼幅	14メートル
全高	4メートル
発動機	二式V型直立十一気筒水冷発動機1基
プロペラ枚数	まいすう 4×2 (一重反転プロペラ装備)
最高速度	800キロ
航続距離	(増装つき) 3000キロ
実用上昇限度	15000メートル
乗員	一名
武装	・ 爆装
38ミリ機関砲2基	(左右翼付け根1基ずつ) (左右翼内2基ずつ)
30ミリ機関砲4基	(機首前面2基)
20ミリ機関砲2基	(機首前面2基)
8センチ空対空墳進弾16発	(左右翼8発ずつ)
60キロ空対空炸裂爆弾8発	(左右翼4発ずつ)

補足

架空兵器の館の特殊戦闘機桜花を新設計した、新型戦闘機
前の桜花は特殊攻撃機から戦闘機に改良しただけだが、この桜花は
水冷発動機を搭載している

二式発動機は3000馬力を発揮する優秀な発動機である
プロペラは4枚の一重反転プロペラを採用している
この桜花は高高度防空(じょうこうとう)を目的として開発している
外見は旧日本軍の未完成高高度戦闘機『キ94』を

参考にしている、設計も『キ94』基本設計として開発している

とね

「・・・・架空連合艦隊は解散した・・・だが、この戦艦紀伊前方に
ある新型の備前型を見ろ」

そう言つと全員が戦艦紀伊の前に停泊している備前型4隻を見た

とね

「何故、架空連合艦隊が解散と言られて、新型の戦艦を作ったのか・
・それは！」

現在の架空連合艦隊の全ての戦闘艦艇、戦闘航空機、戦闘車輌を改
良して

新しい架空連合艦隊を設立する・・・架空連合艦隊は現時点を持つ
て解散と同時に、

新しい架空連合艦隊・・・新生架空連合艦隊を「」に設立する」！

兵員・艦魂

新生架空連合體陰」」」」」

備前

「新生架空連合艦隊はこれより任務に移ります」――

備中

事
!

蒲叟

「・・・兵員の歸れんの部屋には新しい制服を置いて置きましたのでそれに着替えて

備讚

「艦魂の全員も各自の部屋に新しい制服を置いているのだ」

作者

「名實！新生架空連合艦隊は今始動した！これより前架空連合艦隊の兵器をすべて改装する整備部隊、工作部隊、補給部隊はすぐに220番島に向かい航空戦艦琉球型の2隻と一式対空戦車と

1式自動二輪車の改装準備を始めろ！

補給部隊・工作部隊・整備部隊

「「「りよ、了解」」」――――

備前

「琉球、蝦夷もすぐに向かいなさい」

琉球・蝦夷

「「「りよ、了解」」」――――

9月25日・・・今日、二二に新生架空連合艦隊が設立された

次回へ

一式 高高度防空戦闘機 桜花（後書き）

次回から普通に架空兵器を紹介させてもらいます

ご意見、ご感想お待ちしております

三式 航空戦艦琉球型

零島諸島第142番島丹島

紀伊

「しかし・・・新生架空連合艦隊になつたのはいっすぐナゾ・・・やる事は一緒ですね」？

やつひつて備前に話す紀伊、ちなみに服装は長ズボンのままである

備前

「まあね、名前と兵器を改良したり新造したりするだけだからやる事はほゞかわりないわよ」？

紀伊

「所で・・・空島で何があつたんですか」？

備前

「ああ、それはね・・・」

作者

「おー、お前ら琉球と蝦夷の新造艦が出来たぞ

備前が言おつとした時に作者が現れて備前と紀伊は作者について行つた

航空戦艦琉球型

性能

基準排水量 8万4680トン 満載 10万8680トン

全長 360メートル (飛行甲板 160メートル)

全幅 38メートル (飛行甲板 最大幅 40メートル)

速力 40ノット (時速約72キロ)

航続距離 16ノットで2万2240海里

装甲 甲板 24センチ 舷側 46センチ

乗員 3600人 (航空要員含める)

武装

46センチ三連装速射主砲 2基 (前部2基)

16センチ三連装電磁副砲 1基 (前部1基)

16センチ大型追尾式対艦墜進弾発射機 4連装16基

10センチ小型追尾式空対空墜進弾発射機 12連装8基

10センチ小型追尾式対潜墜進弾発射機 12連装8基

8センチ連装速射高角砲 16基

30ミリ近接防御8連多砲身機関砲 48基

20ミリ近接防御8連多砲身機関砲 48基

16ミリ両用機関銃 28基

電磁力タバクト2基

航空機 60機

95式艦上偏光翼戦闘偵察機海鳥10機

艦上戦闘偵察爆撃機烈風26型30機

艦上戦闘機紫電	71型10機
艦上回転翼戦闘機忍	24型10機
同型艦	
琉球	
蝦夷	
長門	
陸奥	
八雲	
出雲	

補足

航空兵器の館の航空戦艦琉球型と航空戦艦長門型を結合して完成した新造戦艦

前の琉球型と長門型の主砲は42センチだったが新造と同時に主砲口径を46センチにあげて、

攻撃力を上げ高角砲、機関砲、機関銃なども備前型と同じ物に換装している

尚、副砲は電磁投射機を搭載して威力を上げている

飛行甲板は？字型の飛行甲板を採用して、航空機を素早く空中展開が出来るようしている

航空機格納庫はは三段式になつており、上段、中段は航空機係留場と武装塔載場になつており、下段格納庫は修理施設になつてている、前の琉球型は同型艦は一隻だけだったが、長門型も四隻も含めて六隻になつてている

紀伊

「・・・長門型の4隻も琉球型に取り入れましたか」

作者

「航空戦艦は一つの型に擁する」と考えてこうなつた

備前

「さてと・・・琉球に蝦夷、もつたいぶらないで早く出できなさい」

そう備前が言うと作者の後ろから琉球と蝦夷の二人が出て来た

琉球

「新生架空連合艦隊、航空戦艦琉球・・・」

蝦夷

「新生架空連合艦隊、航空戦艦蝦夷・・・」

琉球・蝦夷

「『ただいま』に着任致しました」「！！」

そつ言つてその場で敬礼をする一人

服装は士官服をマントのように羽織つており、ロングスカートを履いている

琉球は右腰に大型リボルバー、コルトバイソンをホルスターから下げていて、

蝦夷は左腰にドイツ製の拳銃、P-38をホルスターから下げていた

紀伊

「琉球姉さんと蝦夷姉さんもスカート派だつたか・・・」

備前

「まあ圧倒的にスカートにしてほしつて人が多かつたからね～」

作者

「服装は自由だつて言つたけど」？

琉球・蝦夷

「「元しても体が軽いよ」」――

作者 「そりゃあ船体を変えたから軽いも当然だ」――

紀伊 「で、次回は何をするんですか」？」

作者 「次回は戦闘車両を哨戒します」

備前・紀伊・琉球・蝦夷
「「「それでは皆わんまた次回でお会いしまじょう」」」――.

!!

次回へ

二二式 航空戦艦琉球型（後書き）

「ご意見」「ご感想お待ちしております

四式 四式機動戦車メル（前書き）

諸事情によりぐだぐだ話は無しでお送りします

四式 機動戦車メル

作者

「早速ですが始めます」

四式機動戦車メル

性能
全長 10メートル

全幅 4メートル

全高 3メートル

重量 60トン

エンジン 四式水冷式V型直立8気筒ディーゼルエンジン1基

最高速度（整地）80キロ

行動距離 540キロ

乗員 4名

武装

12センチ単装滑空砲 1基または

10センチ単装ライフル砲 1基

16ミリ連装旋回機関銃 1基

8ミリ単装旋回機関銃 1基

8ミリ単装固定機関銃 2基（主砲軸）

90ミリ10連装煙幕墳進弾発射機 2基

追加装備

データーブレードまたは、地雷処理装置を装備

補足

新生架空連合艦隊

陸戦隊の新型戦車

外見は陸上自衛隊の10式戦車と

イスラエル軍の戦車メルカバを参考に開発しており外見もメルカバに似せて作っている

この戦車は機動力と人員の生存力を上げているが装甲も多彩に搭載しているので頑丈に作っている

それとこの戦車は空挺戦車としても活用できるので、活躍が期待されている

機関銃は対空用だが殆ど地上の防護処置として作られている、（現在の戦車も同じ）

旋回機関銃は自動と手動に切り替えるタイプのを新設計して搭載している

作者

「ではこの辺で・・・次回は航空機をやります」

次回へ

四式 四式機動戦車メル（後書き）

「」意見「」感想お待ちしております

五式 敵距離陸上爆撃機鳳凰（前書き）

遅くなりました

今日は備讚とキッズでのちょっとした奇跡のお話を題せます

五式 長距離陸上爆撃機鳳凰

架空連合艦隊零島諸島、一番島零島に停泊する戦艦備讃食堂にて・・・

備讃

「パクパク・・・」

キッド

「最近よく食べるね備讃」

備讃

「うん、なんかいつも以上にお腹が減るのだ」

キッド

「そう言えばそうだね、何かあったの」？

備讃

「うーん・・・嫌いだつた物が何でか食べれるようになつたのだ・・・
・「うーん・・・」

ガチャーン！－！

備讃は突然立ち上がり食堂の横にある洗面台に駆け込んだ

キッド

「び、備讃！大丈夫かい」！？

備讃

「うん・・・大丈夫なのだ・・・」

キッド

「勢いよく食べるからだよ、自分の部屋で休んでいたら？」

備讃

「うん・・・そうするのだ

そう言って部屋に向かう備讃だが・・・

零島（ヨーファンタージーグラントフリート）、NFGF司令部ビルにて・・・

最上階の新生架空連合艦隊司令長官室

作者
「やつと鳳凰の改良が完成したか・・・」

長距離陸上爆撃機鳳凰（ちよつきょくじゆくじょくばくげきき ほうおう）

性能

全長48メートル

全幅60メートル

全高8メートル

発動機 五式ハ50型水冷V型直立 串形24気筒発動機6基
プロペラ枚数 4×24（二重反転プロペラ装備）（串形の為発動

機の前後ろにプロペラ装備）

航続距離（増装付き）16000キロ

最高速度900キロ

実用上昇限度15000メートル

乗員 20名

武装・爆装

16ミリ六連多砲身連装機関銃座6基（機首前面1基、機首下部1基、機体上面2基、機体下部2基）

20ミリ連装機関銃座4基（機体右舷2基、機体左舷2基）

爆装（下のどれかを選択）

1トン通常爆弾 8発

800キロ通常爆弾 16発

500キロ爆弾通常 40発

250キロ爆弾通常 80発

60キロ焼夷弾しょうついだん 120発

30キロ拡散爆弾 220発

補足

新生架空連合艦隊、陸上爆撃隊の新型爆撃機

基本設計は旧日本軍が開発しようとした超大型爆撃機富嶽かわおかたばくげききを参考に

している

この爆撃機の戦法は日本から飛び立ち、その後爆撃した後に友軍基地か友軍国の基地に着陸する戦法をとっている

発動機は富嶽に使われるはずだった『ハ50』発動機を改造して水冷式にした物を搭載しており、

串形の発動機にしている、二重反転プロペラも装備している為プロペラの枚数がとてもなく多い

発動機は右翼に3基左翼に3基と装備している

作者

「・・・前の鳳凰よりいい性能だが・・・改造して襲撃機にでもしようかな」？

作者が呟いている所に・・・

備讃

「失礼するのだ」

作者

「ん？ 備讃じゃ ないか、なんか用か？」？

備讃

「う、うん・・・最近体の調子がおかしいのだ」

作者

「ふ〜ん・・・どんな風におかしいんだ」？

備讃は最近の事とそつきの事を話した

作者

「・・・女性の妊娠した時の症状にそっくりだな」

備讃

「やつぱり作者もやう思つうのだ」「？」

作者

「一応、聴診器があるからこれで自分のお腹に当てるみるよ、俺は向こうに向いてるからわ」
(普通、聴診器は胸に当てる物です)

備讃

「分かったのだ」

そう言つて作者が後ろを向いて備讃は自分のお腹に聴診器を当てて
みた、すると・・・

備
讚

! ! ! ? ? ?

作者

乙
一
一
一
?
?
?

備讀

そう言つて聽診器を作者の耳に付けた

作者

「んん！？・・・心臓の音がお腹から聞こえてる」――！？？？

作者

「ふ、普通はお腹から心音は聞こえてこないはずだぞー? も、もし
かして・・・備讃・・・お前・・・」

備
讀

「び、備讀は・・に、妊娠したのだ」！？？？？？

次回へ

五式 長距離陸上爆撃機鳳凰（後書き）

「意見」「感想お待ちしております

六式 潜水航空母艦 800

新生架空連合艦隊司令部ジルの中にある会議室にて・・・

作者 「・・・全員そろったな」?

備前 「なんなの作者」?

備中 「急に緊急招集なんて・・・」

備後 「・・・それに、キッズさんと備讚は何で作者の隣にいるんですか？」

備讚

「えっと・・・それは・・・」

キッズ

「備讚・・・言った方がいいよ・・・」これは僕達だけじゃあ解けない問題なんだから

備讚

「つ、うん・・・実は・・・」

潜水航空母艦伊800

性能

基準排水量4440トン

常備

6840トン

水中

8820トン

全長180メートル

全幅16メートル

速力20ノット（時速約36キロ）

水中

18ノット（時速約32

キロ）

航続距離

水上12ノットで44400海里

水中10ノットで2

200海里

潜行限界深度800メートル

装甲 甲板8センチ 舷側16センチ

乗員200名

武装

60センチ固定型魚雷発射管8基（艦首前面集中配備）

60センチ旋回型一連装魚雷発射管1基（艦尾配備）

16センチ一連装速射両用砲1基

30ミリ三連装機関砲4基

魚雷塔載数30発

電磁力タバールト1基

引揚げ専用クレーン2基

航空機塔載数4機

特殊攻撃機晴嵐改

同型艦 伊800 伊801 伊802 伊803 伊804 伊
805・・以下45隻

補足

新生架空連合艦隊の新型潜水艦、架空連合艦隊時代の潜水空母伊800を改良した潜水艦で、

機関砲や魚雷発射管などが増設されている

伊800の主砲である15センチ連装高角砲は新式の16センチ2連装速射両用砲を採用している

塔載している晴嵐改は、旧海軍の特殊攻撃機晴嵐の発動機、武装、航続距離を改良した機体である

伊800型潜水艦を8隻で艦隊を作り、先制攻撃をしかけると敵艦隊が全滅に近い損害を出す事

にちがいないだろう、魚雷は架空連合艦隊時代に開発された94式高速酸素魚雷を仕様している

94式高速酸素魚雷とは、旧海軍の93式酸素魚雷を改造した魚雷で、先端にドリルが付いているのに加えて速力200ノット（時速約360キロ）を出す魚雷である

備讃

「子供・・・出来・・・のだ・・・」

備前

「備讃、もうちょっと大きな声で言つてくれないと聞こえないわよ

備讃

「子供が・・・出来たのだ・・・」

備中

「はい！」？

備後

「・・・備讃・・・エイブリールフルはまだ先ですよ」？

備讃

「冗談でこんな事を言へるへりこないむつ言つてゐるのだ」――――

キッド

「備讃の言ひつておられた事なんですよ監さん」――――

作者 「・・・証拠を出した方がいいな・・・結、例の物を持ってくれ

結
「了解しました」！

そう言って入ってきたのは伊800型潜水艦の艦魂の結がプロジェクトを持って入ってきた

因みに、服装は架空連合艦隊時代に着ていたメイド服で登場

プロジェクトのスイッチをONにして映像が出された

備後

「・・・なんですかこれは」？

作者

「エロー映像だ、妊娠した時に妊婦のお腹に当てる奴あるだろ？」？

備中

「しつてるけど・・・誰のエロー写真」？

備讃

「備讃のなのだ」――――

備前

「そ、そんな訳ないでしょ備讃」？

作者

「こゝをよく見ひ、子供がお腹の中にいるのが分かるだうつ？」

備前

「ほ、本当だわ・・・」

備中

「つて、備讃！？本当に妊娠したの」！？！？！？

備讃

「どひぢり・・・そのみづなのだ・・・」

備後

「・・・相手は・・・キッドさんですね」？

キッド

「は、はい・・・申し訳ありませんでした」！

キッドはその場で備前達に土下座した、すると備後は・・・

備後

「・・・死刑決定」！？！

ジャキンツ！？！

そう言つてベネリM3型ショットガンを空間から出して、銃口をキッドの頭に向けた

作者

「止める備後」――――

パスツ！

備後

「・・・ふつ、不覚」

バタンツ――！

作者

「・・・やはり備後が切れたか・・・説得に時間が掛かるぞキッド」

？

キッド

「努力します・・・」

備前

「・・・まあ・・・でも・・・もう終わっちゃった事だからねえ――」

備中

「でも・・・私達艦魂は妊娠しないのに・・・どうして妊娠したの？」

備讚

「び、備讚にも分からぬのだ・・・神様もいたずらが過ぎるのだ

備前

「で、・・・備讚はどうしたいの？」

備
讀

「な、何をなのだ」「？」

備
中

「産みたいか産みたくないかだよ」

備
讀

「備讀は・・・産みたいのだ・・・」

次回へ

六式 潜水航空母艦母800（後書き）

「意見」感想お待ちしております

七式 防空海防艦虚空

備讃の妊娠が発覚してから四ヵ月後……

「ヨーハンタジーグランツフコート
NFGF病院の一部屋にて……」

備中

「備讃へお見舞いに来たわよ~」

「いつもありがとうございます備中お姉ちゃん」

ベットに寝ている備讃……そのお腹は明らかに大きくなっている

備中

「しかし……四ヶ月でそこまで大きくなるとはねえ~」

備讃

「先生は『艦魂では初めての妊娠だから何が起こるか分からない、人間と違つてお腹の中の成長が早いのかもしれない』って言つていたのだ」

備中

「そのお腹の子供って……男の子？女の子？」

備讃

「まだ分からないのだ」

防空海防艦虛空

性能

基準排水量	1200トン	満載	2400トン
全長	120メートル		
全幅	12メートル		
速力	50ノット（時速約90キロ）		
航続距離	25ノットで1万4200海里		
装甲	甲板10センチ 舷側12センチ		
乗員	300名		
武装			

40ミリ近接防御6連多銃身機関砲3連装5基（前部3基
後部2基）

16ミリ連装機関銃8基
38センチ8連装対潜墳進弾発射機4基
60センチ爆雷投射機8基 発射機4基
40センチ3連装魚雷発射管4基

爆雷200発
同型艦 虚空 破空 雷空 天空

補足

新生架空連合艦隊の新造海防艦

沿岸警備、船団護衛、航空機・潜水艦からの驚異からの開放を考えて建造した

機関砲は三連装砲等のように多銃身機関砲を配置している

爆雷発射機は現在で言つへツジホツクの事である

虚空型は2隻で行動し、任務を行なうように出来ている

対潜、対空に關しては協力だが、やはり対艦攻撃は弱いままである

因みに、4番艦の天空の艦魂はイギリス人である

備讃

「そう言えばそつちはどうなのだ」？

備中

「こつちはいつもどうりだけど・・・備讃の子供で賭けが始まつてねえ・・・天空が始めで備讃の子供は男の子か女の子を賭けてるらじじよ」

備讃

「ふう〜ん・・・びっしが多いのだ」？

備中

「9・9対0・1で圧倒的に女の子の方に賭けてる人が多いよ

備讃

「男の子だつたら女の子に賭けてる人が大損なのだ・・・うつ」！？

備中

「ど、どうしたの備讃」！？

備讃

「お、お腹が痛いのだ・・・」

備中

「も、もしかして・・・陣痛が始まつた」！？

次回へ

七式 防空海防艦虛空（後書き）

「意見」「感想お待ちしております

八式 八式機動戦車ネル

NFGF病院にて・・・

医師
「患者」の劣化
！？
クラシック

看護師

備中

「備讚！大丈夫」！？

備
讚

「備讃は大丈夫なのだ・・・いつつ・・・」

備中

「元気な子供を生むんだよ！－絶対生むんだよ」－－

備讚

「分かつてゐるのだ……」

そう言つて、備讚は分娩室に入つた備讚・・・
備中は窓の外を眺めた、外は雨が降つていた

備中

「急に天気が悪くなつてきたなあ～・・・」

8式機動戦車ネル

性能

全長 12メートル

全幅 6メートル

全高 4メートル

装甲 砲等部（複合装甲装備）12センチ 車両部（増加装甲、爆発物反応装甲装備）16センチ

重量 100トン

エンジン 8式水冷式V型直立10気筒ディーゼルエンジン1基

最高速度 （整地）90キロ

行動距離 600キロ

乗員 4名

武装

140ミリ単装滑空砲1基

20ミリ6連多銃身対空機関銃2基（主砲左右に1基ずつ装備）

16ミリ連装旋回機関銃2基

8ミリ固定機関銃2基（主砲軸）

90ミリ12連装煙幕噴進弾発射機2基

追加装備

ドーザーブレードまたは、地雷処理装置を装備

補足

新生架空連合艦隊の新型機動戦車

外見は陸上自衛隊の90式戦車を参考にしている

主砲は新型の140ミリ砲を搭載して破壊力を上げているが、砲の

口径が大きい為に砲弾が少し少ないのが欠点である

砲等側面には艦艇搭載用に作られた6連多銃身機関砲を搭載して航空機からの驚異を少し和らげている

主砲や車体が大きいので重量が重過ぎるのも欠点であるが最高速度が90キロを出す事に成功している

分娩室前にて・・・

キッド

「備中さん！備讃は大丈夫ですか」！？

備前

「備中！備讃はどうなの」！？

備後

「・・・無事なんでしょうね」！？

備中がベンチに座っていた所に備前達が到着した

備中

「さっき入ったばかりだから・・・まだ分からなによ・・・

作者

「そうか・・・少し心配な事があるんだが・・・」

備前

「何が心配なの」？

作者

「何が心配なの」？

「いや・・・備讃は艦魂でキッドは人間・・・人間としての子供と生まれるか、艦魂の子供して生まれるか分からぬじやあないか」

備後

艦魂として生まれたとなると・・・」

作者

今建造中の艦艇がないから……」

全員

۱۰۷

全員が沈黙しているその時

ピカツ！！！

ドコオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオン！！！

突然、窓の外が光り凄まじい音が鳴り響いた

「な、何だ」！？
作者

備前

「わ、分からないわよ・・・作者！外を見て」――！――！

そう備前が言つて作者が外を見ると、外にあるドックの屋根に大穴

が開いていた

作者

「あ、あそこは・・・」「

作者が言いかけたその時・・・

「フ、フギヤア！フギヤア！..」

分娩室の中から泣き声が聞こえた

キッド

「う、生まれた・・・」

備前

「生まれた・・・」

備中

「備讃の子供が生まれた・・・」

備後

「・・・」

全員

「やつたなキッド君ー！」の瞬間に君はお父さんになつたんだぞ！..
ああああああ「あ、「！..」

作者

「やつたなキッド君ー！」の瞬間に君はお父さんになつたんだぞ！..

キッド

「はい、ありがとうございます」――

備中

「備讃はお母さんになつたんだね・・・」

備前

「備讃・・・よくせつたわ・・・」

備前と備中が涙を流している時に備後が・・・

備後

「・・・私達は備讃の子供から言つて伯母になつますよ？」

備前・備中

「ハツ（@）（@）（@）（@）（@）」――???

次回へ

八式 機動戦車ネル（後書き）

「意見」「感想お待ちしております

九式 大型機動戦艦？？？？（前書き）

タイトルの？は本編を見れば分かります

九式 大型機動戦艦?????

ニューファンタジーグラントフリート
NFGF病院の病室にて・・・

備讃

「う、うう～ん・・・」

キッド

「備讃・・・大丈夫かい」？

備讃

「キ・・・ッド・・・君?・・・」は? ？

備前

「病室よ、備讃・・・」

備讃

「備前お姉ちゃん・・・はつ! そなのだ! 備讃の子供は」！？

備中

「備讃・・・横を見て」

備讃

「へつ? 横」？

備中に言われて横を見と、横の小ちなんベットには赤ちゃんが寝ていた

備後

「・・・体重4360グラムの男の子です・・・備讃、おめでとう」

備讃

「これが・・・備讃とキッド君との子・・・」

キッド

「そうだよ備讃・・・僕たちの子だ・・・抱っこしてあげないと」

キッドがそう言つと備讃は子供を抱き上げた

備讃

「・・・神様がくれた贈り物なのだ」

キッド

「そうだね・・・」

二人が話している間に備前達は外に出た

廊下にて・・・

備前

「所で・・・備讃が生んだあの子は人間なの？艦魂なの？」？

備中

「まだ分からないよ・・・新生架空連合艦隊の兵員にも見えない人がいるからその人を探して連れて来て確かめないと・・・」

備後

「・・・で作者はどうしたんですか」？

作者の状況

作者

「・・・」いやあひどいが・・・中の艦艇は無事だつたな」

そつ置いて、作者はドックの中に停泊している艦艇を見た

大型機動戦艦計画番号〇BB956

性能

基準排水量100万2400トン　満載160万8440トン

全長1000メートル

全幅100メートル

速力80ノット（時速約144キロ）

航続距離　大型核融合炉4基搭載の為、無限

装甲　甲板100センチ　舷側200センチ

乗員12000人

武装

51センチ3連装速射主砲50基

41センチ連装電子速射砲25基

31センチ単装速射副砲100基

12センチ4連装速射高角砲200基

30ミリ4連装機關砲50基

80センチ対艦墳進弾発射機10連装100基

20センチ空対空墳進弾発射機20連装200基

12センチ近距離空対空墳進弾発射機30連装120機

カタパルト　無し

航空機無し

準同型艦　備前　備中　備後　備讃　〇BB956

補足

架空連合艦隊発足前に建造された大型戦艦で艦名はまだなく計画番号で呼ばれている

まず、戦艦備前型は10種類の設計図の中から決められて建造されてその設計図の一枚がこの大型戦艦である

この大型戦艦はまだ進水式をしていない為艦魂は存在しない
航空機を離着陸される飛行甲板はあるが、カタパルト、航空機搭載格納庫は備えていない

この戦艦は旧海軍の50万トン戦艦をモチーフにして建造されたが、あまりにも大きすぎるので

ドックの中で眠りについていた所に雷が落ちて進水してしまったのだが・・・この艦の艦魂が見当たらないのは何故だろう・・・

武装は電子砲を搭載しているので対艦、対空攻撃を両用出来る仕様にしている

備前型5番艦として建造されたが、性能や外見が違い過る為、準同型艦として進水した

作者

「この艦の艦魂は何処に行つたんだ？・・・それに・・・雷が落ちても外傷が一切無いのもおかしいな」

そういうながら作者はドックを後にした・・・

再び病院内にて・・・

女性

「失礼します備讃さんの病室はここですよね」？

キッド

「はこやつですかび・・・貴方は」？

女性

「私は新生架空連合艦隊の従軍記者です、艦魂は見えませんけど・・・
・そこのベットに備讚さんははこますね」？

キッド

「ハリハリまかナビ・・・ギリギリ用件で」？

女性記者

「艦魂初の出産ですからその事で記事にしてひと思こまして・・・
備讚さんのお子さんははこひりで」？

備讚・キッド

「へい」「！？？

備讚とキッドはその言葉に驚愕した

キッド

「い、今は備讚が抱いていますが・・・赤ちゃんがみえないのです
か」？

女性記者

「え、ええ・・・見えないけど・・・」

次回へ

九式 大型機動戦艦？？？？（後書き）

「ご意見」「ご感想お待ちしております

十式 十式艦上戦闘機一一型

「ユーファンタジー・グラント・ワード」
NFGF病院の、備讚の病室にて・・・

備讚

「まさか・・・この子が艦魂だなんて・・・」

キッド

「しかも男の艦魂だなんて・・・」

女性記者

「男の子なんですか・・・艦魂が見えないのが残念ですけど・・・
男の艦魂って本当に珍しいですね・・・じゃあ、私はこれで失礼します、インタビューはまた今度にしますので」

キッド

「そうですね・・・でも艦魂なら本体である艦艇はなんでしょうかね」?

備讚

「・・・(この子の本体である艦艇は多分・・・あれかな?...)」

「

女性記者

「ヒカル、お子さんのお名前はお決まりで？」

キッド

「あ、まだです」

じゅうしきあんじょうかせんとうひきにじーちがた
十式艦上戦闘機一一型

性能

全長 10メートル
翼幅 14メートル

全高 3メートル
発動機 蒼星^{そうせい}21型^{がた}18^{きとうほしがたくわいはつ}気筒^{きとう}星形^{せいぎょう}空冷^{くうれい}発動機^{はつとうき}1基^き

プロペラ枚数 4×1

最高速度 760キロ

航続距離 4200キロ（増装付き）

実用上昇限度 10000メートル

乗員1名

武装・爆装

30ミリ機関砲2基（左右翼付け根2基ずつに配備）

25ミリ機関砲4基（左右翼2基ずつに配備）

16ミリ機関銃2基（機首前面配備）

8センチ空対空墳進弾12発（左右6発ずつ）

60キロ空対空爆弾6発（左右6発ずつ）

補足

新生架空連合艦隊の新型艦上戦闘機

本機は旧海軍の零式艦上戦闘機と旧架空連合艦隊の零式艦上戦闘機

1010型を改良した機体である

発動機は初の空冷発動機を採用しているが最高速度760キロと高速である

零式艦上戦闘機1010型より翼幅が両幅含めて4メートル増えている為、旋回性能がとてもない
機関砲も30ミリ、25ミリ、16ミリと大量に搭載している為攻撃力が半端ないのである

零式艦上戦闘機でも問題になっていた装甲であるが、この戦闘機の装甲はB29並に強力である。

再び病院内にて・・・

備讃

「この子の名前はまだ決めてなかつたのだ」

キッド

「うへん・・・じつは前にしようかな？」

作者

「ただいま～っと」

二人が悩んでいる時に作者が病室に入つて來た

備讃

「あ、作者なのだ」

キッド

「どうでしたドックの様子は？」

作者

「中についた艦艇は無事だつたけど・・・その艦艇は雷が落ちた衝撃で進水してしまつてね・・・それのどこを探しても艦魂が見当たらないんだ・・・何でだろう・・・？」

備讃

「・・・その艦艇つて・・・備讃達の準姉妹艦になる〇BB956

じゃないのだ」？

作者 「お、よく分かつたな・・・何でのドックにある事が分かるんだ？」

備讃

「前に駆逐艦と子達とかくれんぼした時にそのドックに入ったのだが、その時にあの艦艇と設計図を見たのだ」

作者 「・・・鍵をかけたのになんで開けれたんだ？」

キッド

「それより作者さん、この子の事なんですが・・・」

作者 「ん?何かあつたのか？」

キッドは先ほどの記者との会話を話した

作者

「・・・ならそれは艦魂なのか?・・・ならこの子はO B B 9 5
6の艦魂か？」

備讃

「そう言つ事になるのだ・・・それを作者にもうひとつ報告があるのだ」

作者

「

「なんだ」？

キッド

「二の子の名前が決まりました」

作者

「おお、それはよかつた・・・備前達は知つてゐるのか？」

備讃

「まだなのだ」

作者

「なら、備前達が来るまで少し待つておひづ」

次回へ

十式 十三艦上戦闘機一一型（後書き）

「意見」感想お待ちしております

十一式 航空重巡洋艦利根

ZFGF病院の、病室にて・・・

備前

「その子が艦魂だなんてね～」

備中

「信じられないなあ～、しかも男の艦魂

備後

「・・・あの雷も少し歴しかったけど・・・、いいか

備讃

「備讃も信じられないのだ

キッド

「」の子の本体は備前さん達の準姉妹艦にあたるOBB956の艦
魂になつたらしくです

備前

「へえ～そつなんだ

作者

「・・・それより早く名前を発表してくれよ

航空重巡洋艦利根

性能

基準排水量 3万4560トン 満載4万8840トン

全長 200メートル 飛行甲板100メートル

全幅 20メートル 飛行甲板20メートル

速力 60ノット (時速約108キロ)

航続距離 30ノットで2万1000海里

装甲 甲板15センチ 舷側30センチ

乗員 1000名 (航空要員含める)

武装

30センチ三連装速射主砲2基 (前部2基)

12センチ連装速射高角砲8基 (右舷4基 左舷4基)

10センチ小型追尾式艦対空墳進弾発射機8連装4基

60センチ四連装魚雷発射管4基

30ミリ近接防御6連多砲身機関砲16基

20ミリ四連装機関銃32基

16ミリ両用機関銃8基

電磁力タバート2基

航空機塔載機数24機

95式艦上偏向翼戦闘偵察機海鳥4機

艦上戦闘偵察爆撃機烈風26型10機

艦上戦闘機紫電71型6機

艦上回転翼戦闘機忍24型4機

同型艦 利根 とね 筑摩 ちくま

補足

新生架空連合艦隊の新型航空重巡洋艦

旧日本海軍の航空巡洋艦最上と重巡洋艦利根型、B-65型巡洋艦を参考にしている

飛行甲板はV字型を採用しており、2機同時発艦が出来るようになつてている

主砲である30センチ速射主砲は砲弾の他に墳進弾も発射できるよう設計している

航空機は24機を搭載可能であり、単艦で敵部隊を全滅する能力がある
利根型の主な任務は船団護衛や水雷戦隊旗艦、また強襲揚陸援助と
多数の任務をこなせる

備讃

「この子の名前は・・・『まほろば』・・・まほろば、なのだ」

キッド

「日本の別の呼び名であるまほろばから取りました」

備前

「まほろば・・・いい名前ね」

備中

「私も気に入ったよ、まほろば」

備後

「・・・まほろば・・・別の意味では『住やすい場所』『すばらし
い場所』と言つ意味もあります」

作者

「まほろばか・・・なら、OBB956の名前もまほろばに決定だ
な」

備讃

「これからよろしくなのだ、まほろば」

キッド

「よろしくな」

そう言つてまほろばを見る一人、まほろばは備讃の腕にだかれてぐつすり眠つていた

次回へ

十一式 航空重巡洋艦利根（後書き）

「意見」「感想お待ちしております

十一式 鏡水電探塔載駆逐艦海風

備讃の出産騒動から早4ヶ月、戦艦備讃食堂内にて・・・

作者

「お~い備讃いるか~」

備讃

「あ、作者久しぶりなのだ

キッド

「『』の四ヶ月見かけませんでしたけど何してたんですか？」

作者

「新しい兵器を開発をしてたら研究所に引きこもってたせいか気づいたら四ヶ月たっていたんだよ・・・おほろばは元気か？」

備讃

「元気なのだ」

キッド

「最近は備前さん達と一緒にいる事が多いですよ

作者

「ふ~ん・・・俺はまだ設計の途中だから戻るわ

そう言って作者が食堂から出ようとした時に・・・

ドンッ！――

誰かとぶつかつた

？？

「あ、すいません」

とねに謝る人物、階級と服装からして将校クラスの人物だ、年齢は二十代位だろうか？

作者

「いやいや、いらっしゃいませんではこれで……」

そう言つてとねは食堂を後にした

？？

「・・・今のは誰なんだい？・・・備讃母さん」

鏡水電探塔載駆逐艦海風
きょうすいでんたうとうさくいくちくかん うみかぜ

性能

基準排水量 3500トン 満載 4800トン

全長 120メートル

全幅 12メートル

速力 50ノット（時速約90キロ）

航続距離 24ノットで10000海里

装甲 甲板8センチ 舷側12センチ

乗員 400人

武装

12センチ連装速射主砲3基

（前部2基 後部1基）

6センチ単装速射高角砲4基

40ミリ4連装機関砲8基

20ミリ4連装機関砲12基

16ミリ連装機関銃4基

10センチ艦対空墳進弾発射機4連装8基

60センチ5連装魚雷発射管2基

40センチ爆雷投射機2基 発射機4基

航空機塔載不能 垂直着陸機のみ離着艦可能

同型艦 海風 山風 浦風 江風 竹風 以下55隻

補足

新生架空連合艦隊初の駆逐艦

鏡水電探とは現在、世界各国の艦艇に搭載されているイージスシステム

を改良発展させた対空システムである

艦名は旧海軍の海風型駆逐艦の海風から取つており、外見が吹雪型駆逐艦とアメリカ海軍のフレッチャー型駆逐艦を合わせた形である。艦隊用駆逐艦としては外見は旧式だが性能は現在のイージスシステム塔載艦よりもない威力である。

またこの艦艇の改良型を現在設計中であるがアメリカ海軍のズムウォルト級護衛艦の外見を持つ駆逐艦になりそうである

備讃

「あのは私達の作者であり、この新生架空連合艦隊の長官の重巡とねなのだ」

まほろば

「ああ・・・あのが僕のお爺ちゃんの重巡とねさんね

備讃

「ぱつたりあつたのに気がつかないなんて・・・作者は鈍感なのだ」

まほろば

「まあまあ・・・僕が4ヶ月でこんなに大きくなるなんて誰も思つても見なかつたんだし、今回は大目にみようよ備讃母さん」

備讃

「まあ、それもそうなのだ」

キッド

「2ヶ月までは普通の赤ん坊だったのにそれから大きくなつてここまでになつたからなあ・・・とこりでまほろば、その持つている本はなんだ」「？」

まほろば

「ん？ああこれ？さつとき母さんの部屋で見付けた奴で・・・えつと・・・『軍用教育本2011版（対象年齢10歳以上）』これを読めば立派な軍人だ！――』って本なんだけど・・・」

備讃・キッド

「――・・・（（山城さん達からの奴だ））」

まほろば

「面白そつだからしづらべかりるよ備讃母さん」

備讃

「ど、どうだなのだ」

次回へ

十一式 鏡水電探塔載駆逐艦海風（後番号）

「意見」「感想お待ちしております

十二式 航空軽巡洋艦伊吹

戦艦備讃食堂内にて・・・

まほろば

「ふあ～・・・おはよりキッド父ちゃん、備讃母ちゃん」

キッド

「おはよう、まほろば」

備讃

「おはよりなのだ、何だが眠そうなのだ」

まほろば

「昨日夜遅くまで」の本を読んでいたから眠いよ・・・」

そつ言つて出したのは新米士官先生の所の山城、シルヴィア夫妻が送つてくれた軍用教育本であった

航空軽巡洋艦伊吹

性能

基準排水量

1万4300トン

満載

2万4850トン

全長

180メートル

(飛行甲板)

80メートル

全幅

16メートル

(

飛行甲板

)

20メートル

速力

60ノット(時速約108キロ)

航続距離

30ノットで1万8000海里

装甲

甲板10センチ

舷側

20センチ

乗員 800名

武装

20センチ三連装速射主砲3基（前部集中配備）

12センチ速射高角砲4基（右舷2基 左舷2基）

10センチ小型追尾式艦対空墳進弾発射機4連装4基

60センチ四連装魚雷発射管2基

30ミリ近接防御6連多砲身機関砲12基

20ミリ四連装機関砲24基

16ミリ連装両用機関銃8基

電磁力タバールト2基

航空機塔載機数16機

95式艦上偏向翼戦闘偵察機海鳥6機

艦上戦闘偵察爆撃機烈風26型10機

同型艦

伊吹

鞍馬

大淀

仁淀

補足

新世架空連合艦隊初の軽巡洋艦

外見は旧日本海軍の阿賀野型、大淀型軽巡洋艦をモチーフにしている
飛行甲板は航空重巡洋艦利根型を参考にして、V字型飛行甲板を採用している

主砲は新しく開発した20センチ三連装砲を3基塔載している

航空機は通常は16機だが露天駐機で24機を積める

伊吹型は鏡水電探塔載駆逐艦海風型と航空巡洋艦利根型との連携作戦を考えられて開発した艦である

まほろば

「他にも沢山本があつたから読んでいたけど・・・2時間で50冊全部読んじゃった」

備讃・キッド

「 「 2 時間で 50 冊」 「 ！ ！ ？ ？」

二人が驚いている時・・・

？ ？ 1

「 あらあら、何をなさつているのですか備讃姉さん」 ？

？ ？ 2

「 備讃姉さんの子供つてどーなの」 ！ ？

？ ？ 3

「 (・・・ 襲わないでくださいよ震洋姉さん) 」

そつ言つて入つてきたのは、架空連合艦隊時代に健造された空母と
戦艦と戦闘空母の艦魂達である

？ ？ 1 は航空母艦赤城の艦魂、赤城 性格はやさしいお姉さん 武
器 日本刀

？ ？ 2 は戦闘空母震洋の艦魂、震洋 性格は普段はおとなしいがか
つこいい男子を見ると襲いかかつてくる新世架空連合艦隊きつての
危険人物 武器 太刀とコルトガバメント

？ ？ 3 は戦艦河内の艦魂、河内 性格は大人しいが喋れない為、ス
ケッチブックに文字を書いて話す 武器 ラハティ L39 対戦車ラ
イフル

赤城

「 貴方がまほろばさんですね」 ？

まほろば

「あなた方は」「？」

赤城

「私は航空母艦赤城型の艦魂の赤城です」

震洋

「私は戦闘空母震洋の艦魂の震洋だよ、ようしくね」

河内

「（・・・私は戦艦河内の艦魂、河内です・・・ようしくまほろばさん）」

まほろば

「貴方方が備讃母さんと一緒にいる人達ですか・・・僕は準戦艦備前型五番艦の艦魂のまほろばです、これからもようしくお願ひします・・・」

震洋

「頂き」！――！

まほろばが最後まで言おうとした時、震洋が飛びついて来た

まほろば

「・・・ハッ」！

震洋

「ありや」――？

まほろばの場で伏せて震洋を交わしたと想つたら震洋を押され込んだ

まほろば

「先輩だから手加減はしたんですけど初対面の相手に対してこきなりこれはないんじゃあないですか？震洋姉様」？

震洋

「あ・・・あははは・・・『めぐらさん』がまほろば

震洋は勝算が無ことと思つてそれいじょうに向ひしなかった

赤城

「あの震洋を一発で抑えるなんて・・・

河内

「（やまつ・・・口者じゅあない）ですね・・・（ ）」

備讃

「流石、備讃とキツア君の子なのだ」一

キツア

「関心するなよ備讃・・・まほろばももつやめてられ

まほろば

「わかつたよ父さん」

次回へ

十二式 航空軽巡洋艦伊吹（後書き）

「ご意見」「ご感想お待ちしております

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7697w/>

新生架空兵器の館

2011年12月31日19時49分発行